



医療法人八宏会有田胃腸病院 広報誌

ありた

2019年11月号

vol. 6

発行者
医療法人八宏会有田胃腸病院
大分市牧1丁目2番6号
地域医療連携室
2019年11月10日



大分城址公園 仮想天守イルミネーション

今月のINDEX

巻頭言 「4年に一度じゃない。一生に一度だ。」

有田胃腸病院の現状と今後

炎症性腸疾患について

救急告示病院に認定される！

日曜日診療の縮小について

インフォメーション（新任医師紹介）

「4年に一度じゃない。一生に一度だ。」



院長
白水 章夫

ラグビーワールドカップ日本大会がついに始まりました。史上初のベスト8の快挙を成し遂げた日本代表の目覚ましい活躍により、にわかラグビーファンを取り込んで大分だけではなく、日本中が盛り上がっています。私も大分での開幕戦であるニュージールランドーカナダ戦を観戦しました。生の「ハカ」やオールブラックスの圧倒的な強さを目の当たりにし、大いに感動しました。さらに、大分で行われる準々決勝2試合も観戦する予定にしています。

今大会4連勝で準々決勝進出を果たし、決勝戦進出も夢ではないような状況である日本代表の強さの原因はいろいろあると思います。元々強かったバックスの展開力と豊富な運動量に加え、徹底したフィジカルの強化によるフォワード陣の実力アップとバランスの良さにあると思います。さらに、選手個人の日々の鍛錬、選手間の意思疎通のスムーズさ、

チームとしての意思統一の成果だと思います。

病院も一つのチームであり、患者さんに良質な医療を提供する事を目標に、各部門が連携しつつ、切磋琢磨していくべきだと思います。当院も4月より有田桂子先生を新理事長とした新体制でスタートし、約半年が経過致しました。今まで通り消化器専門病院としての本幹はそのままですが、新しい取り組みを導入し、さらなる飛躍を求め続けています。

それは、(1)慢性期・リハビリテーション科の充実、(2)地域包括ケア病床の開設、(3)健診業務への参入と業務拡大、(4)訪問診療・訪問看護の開始、(5)救急告示病院の認定、(6)炎症性腸疾患に対する専門外来の実施、(7)働き方改革に応じた日曜診療の変更です。

それぞれについては担当部門からの紹介記事を参照して頂ければ幸いです。

ラグビー日本代表の様にとまでは言いませんが、当院も有田新理事長の下、さらなる飛躍を目指し、職員一丸となり努力していくつもりですので、今後とも何卒よろしくお願致します。

有田胃腸病院の現状と今後



副理事長
脇坂 昌紀

当院は1981年3月の開院以来、一貫して消化器疾患専門病院として地域に密着した医療を展開してまいりました。今年3月には創立者である有田 毅 前理事長および有田 徹 前事務局長の2名が勇退し、4月より新たな体制のもと当院の第2章がスタートしております。

当院はこれまでと同様に胃腸疾患を主たるターゲットに置きつつも、総合診療医の招聘、リハビリ病棟の充実、地域包括ケア病床の設置、訪問診療の開始など、近年の人口構造の変化や諸々の社会情勢の変化にあわせた医療内容の変化に対応するとともに、健診受診者のさらなる受け入れや、10月からの夜間の腹部救急患者の救急対応など、何よりも患者さまの立場にたった医療の実践を推進しております。今年11月には当院として初めてのサテライトクリニックの開業も予定しており、いっそう地域の皆さまのお役に立てるよう職員

一丸となって努力を続けてまいります。

今年8月末には約20年間にわたり当院に勤務した消化器内科医が開業に伴い退職いたしました。長く共に働いた仲間の新たな門出に職員一同心から拍手を送りました。しかしながら一人の医師の退職によって当院の医療の質がいささかも落ちることがあつてはならず、今後も大分大学医学部消化器内科および消化器外科からの継続したご支援をお願いするとともに、専門医による炎症性腸疾患外来も新たに開設いたしました。今後も診療レベルのさらなる向上を目指すとともに、これまでの当院の診療体制を改めて振り返り、診療開始時刻の厳守や患者さまの待ち時間の短縮など、さらに良質な患者サービスの提供に努めることも再確認いたしました。

当院はこれからも昨今の医療を取り巻く急激な環境変化に的確に対応し、患者さまやご家族の皆さま、そして各医療機関の先生方からも信頼される病院を目指して最大限の努力を続けてまいります。今後もさらなるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

◆ 放置していませんか？ 下痢、血便

理事長 有田 桂子



有田胃腸病院は胃腸科専門の病院として昨今の時代背景に合わせて、日々様々な取り組みを行っております。その一環として消化器部門に関しては、9月より炎症性腸疾患専門外来を開いたしました。消化管、口から肛門までに慢性的に炎症が起こる原因不明の疾患、総称を炎症性腸疾患（Inflammatory bowel disease：以下IBD）と呼びます。今回は、特に潰瘍性大腸炎、クローン病といった疾患について説明いたします。この数十年間、日本では若年層から働き盛りの青年層に炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎・クローン病が年々増加傾向にあります。

当院でも、今まで多くの患者様の治療を行ってきました。内服（飲み薬）による治療だけで良好に改善する患者様から各種治療を行ってもなかなか改善できない患者様まで様々です。炎症性腸疾患における主な症状は、腸の炎症によって起こる腹痛・下痢・血便ですが、炎症が長期間持続することにより腸閉塞（腸が狭くなり食べ物が通らなくなる）を合併し、手術（外科的に狭窄・閉塞部分を切除する）が必要になったり、また、炎症が持続することによって発癌することがあります。通常の腸にできる癌と比較して、炎症性腸疾患に発症する癌は発見が難しく、多発していることがあり全大腸を切除しなければならなくなることもあります。発症してから早く診断し、速やかに治療を行うことで炎症を抑え、早期に寛解という状態に導くことが大切です。治療がうまくいかないと生活の質（QOL）の低下につながります。つまり適切な治療をしなければ日常生活が通常通り送れなくなる、そんな疾患です。

この度、この炎症性腸疾患のスペシャリストである久留米大学 炎症性疾患センター教授 光山慶一先生を招聘いたしました。治療・研究に豊富な経験があり、発症初期の患者様から治療に難渋している患者様まで柔軟に対応してまいります。これからも病院全体で患者様一人一人に適切な治療が提供出来るよう努めてまいります。

非常勤医師の紹介

光山 慶一 医師（久留米大学病院 炎症性腸疾患（IBD）センター教授）

2012年より久留米大学消化器内科教授。主な研究分野は消化管免疫、腸内細菌、炎症性腸疾患の病態解析と治療。久留米大学は、九州で初のIBDセンターを2009年に開設し、クローン病や炎症性大腸炎の患者さんを多く診療されています。

有田胃腸病院では、2019年9月より、定期的にIBD外来を行っています。診療につきましては、ご相談ください。



多職種で心肺蘇生の訓練

有田胃腸病院は、夜間救急診療はかかりつけ患者様の対応のみとして、積極的な夜間救急は行っていませんでした。しかし、高齢化に伴う疾病構造の変化や在宅医療の進展などの現状から、地域の皆様に利用し易い病院を目指して、令和1年10月から一次救急指定病院の認定を受けました。

当院は消化器専門病院であり、総合病院のように幅広い疾患のお受け入れは厳しく、消化器症状（胃痛・腹痛・下痢・痔症状）や内科的な疾患、発熱など生活の中で困りになる症状に対応したいと考えております。当院で処置や治療が困難な場合は、責任を持って適切な病院をご紹介させて頂きます。

一次救急指定病院の認定を受けました

のでご安心下さい。

検査機器はCT・MR

I・内視鏡等の設備を充実させ初期診断が確に行えるよう設備を整っています。スタッフも救急マニュアルの整備や救急車受け入れの手順などの整備を終え、対応できる医師、看護師、検査技師、放射線技師、受付事務員の配置をしております。さらに、緊急時の確な処置を目指して、BLS（一次救命処置）の演習を行いました。折本医師の救急の基本や挿管介助の講義のあと、急変時のシナリオに沿った行動や心臓マッサージ、AEDの操作など4ブースで演習を行いました。この研修は毎年行っていますが、今回、夜間の救急受け入れを視野に入れ、セラピスト・放射線技師も参加して夜間でも他職種協同で急変時の対応ができるよう学習の機会を設けました。



医師が行う気道確保の介助訓練

救急の受け入れは21:00まで体制をとっています。保険証をお忘れにならないようお願いいたします。



日曜日診療変更のお知らせ

10月より、毎週火曜日及び祝日に加え、
第2・第4日曜日を休診日とさせていただきます。

「日曜診療の縮小はかかりつけの患者様、特に仕事でなかなか休めない働き盛りの患者様の不利益となるのではないかと」

今年の4月からの「働き方改革関連法」の施行に伴い、当院でも医師を含めた職員の働き方を考えた議論の中で、一番頭を悩ませた問題でした。

紆余曲折を経て、従来の毎週火曜日・祝日に加え、第2・第4日曜日を休診すると決断した理由は次の2点に集約できます。

① 昨今のコンビニや大手レストランでの24時間営業の見直しで、お客様のサービス低下が懸念される中、従業員にゆとり休んでもらい、心身ともにリフレッシュすることで、限られた時間の中で仕事に集中し、かえってお客様によりよいサービスを提供、満足度の向上につながっているとの企業の報告があります。

② 有田胃腸病院も一時的に患者様にご迷惑をお掛け致しますが、我々職員一同、与えられた時間を大切に、待ち時間の縮小、丁寧な診療、温かい看護、確かな検査、接遇の向上といった安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。

人事・採用に携わる者として、

2019 10月							2019 11月							2019 12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

2020 1月							2020 2月							2020 3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	13	14
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	15	16	17	18	19	20	21
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27	28
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	29	30	31				

○が新たに休診日となる第2・第4日曜日です

幼いお子さんを抱えている看護師ら職員が日曜診療のために、採用に至らないことを目の当たりにしてきました。医師をはじめとして、安定的な人材を確保することは持続的な病院運営のため、また患者様のニーズにお応えするためにも必要不可欠であると考えました。

以上のことから、開院以来続けてまいりました日曜診療の見直しに踏み切った次第です。つきましては皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。忌憚のないご意見をお聞かせください。

インフォメーション

新任医師紹介



副院長
いのうえ くにみつ
井上 邦光

〔専門分野〕
消化器内科、内視鏡専門医
〔資格等〕
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医
日本内科学会総合内科専門医
〔所属学会〕
日本内科学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会
〔患者様へのメッセージ〕
内視鏡検査・処置の技術で皆様の健康を守るお手伝いを致します。よろしく願います。



内科医師
かわの まさや
河野 昌也

〔専門分野〕 内科、呼吸器科
〔資格等〕 医学博士
日本抗加齢医学会専門医
日本結核病学会 結核・抗酸菌症認定医
日本医師会認定産業医
インフェクシャスコントロールドクター
大分オレンジドクター もの忘れ・認知症相談医
〔患者様へのメッセージ〕 ここ10年間は
大分市南部医療圏にある在宅支援診療所で、呼吸器疾患のみならず内科疾患全般の診療と在宅医療に携わってきました。9月から当院勤務となりましたが、昨今の医療政策に悲憤慷慨する事なく、引き続きブレずに真摯に地域医療に取り組む次第です。



歯科医師
こばやし とおる
小林 亨

〔患者様へのメッセージ〕
2019年11月1日より、みなはる診療所（大分市皆春266-1）を開設致します。体の不調などが原因で通院が困難な方に対してご自宅や施設に直接伺い、患者様の生活に合わせた訪問歯科診療を主軸に行ってまいります。治療以外でも、口腔ケアの助言、お口の健康相談、検診なども承りますので、気軽にお声掛け頂けたらと思います。

医療法人八宏会 有田胃腸病院

代 表 TEL : 097-556-1772 FAX : 097-556-1778
地域連携室 TEL : 097-529-8960 FAX : 097-529-8961